事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要												
氏名又は名称			۱۴°	ーファスナーニ	二業株式会	注						
代表者名	氏	名	小林弘侍		役職名	代表取約	帝役社長					
主たる事務所 の所在地			長野	県松本市	7笹賀5652	2-36						
主たる事業	大分	分類			E 製造業	È						
の分類	中分	中分類 24 金属製品製造業										
主たる事業 の概要	工業	終用ファスナー(関連会	ナー(関連金属加工製品を含む)、自動車用部品の製造販売									
	•	条例第12条第1	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者									
制度に該当する		条例第12条第1	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者									
要件		条例第12条第1	条例第12条第1項第2号に該当する事業者									
		上記以外(任意	意提出)の事業者	∠.								
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年	度報告	第二年度報告	第三年度報告					
原油換算エネル ギー使用量	k1	1,627	1, 578									
エネルギー起源二酸 化炭素排出量	t- CO ₂	3, 266										
調整後 排出量	t- CO ₂	3, 266	3, 168									
その他ガス 排出量合計	t- CO ₂	0										
自動車の台数	台	8	8									
自動車からの 排気ガス合計	t- CO ₂	10										
o #####		ᄔᇚᄆᄆᄁᄼᅅᆂᇚᄹᅩᆡ	r de la colo									

2	基準年度、計	計画期間及び	報告対象年	F度				
	基準年度	2022	年度	計画期間	2023	年度~	2025	年度
	報告対象 年度		年度					

3 📑	↑画書 ((報告書)	の公表方法等
-----	-------	-------	--------

ホームページ	
印刷物の閲覧	http://www.topy-fas.co.jp
その他	

イニシアチブ

参画状况

4 温室効果ガスの排出の量の削減のための基本方針

・生産活動における不良率低減 ・生産効率向上による省エネ ・設備導入時、C02排出量の少ない/エネルギー効率の良い設備の選定 ・省エネタイプの照明器具の設置拡大 ・身近で出来る省エネ活動の継続 2050ゼロカーボンに向けた中長期的な目標等 目標年度 目標等の有無 削減目標 C02排出量46%削減(2013年度比) 有 2030 年度 2030年度にC02排出量を2013年度比で46%削減する ・照明のLED化やエアコンの更新等のエネルギー使用量削減の諸策を進め、2030年に 削減計画 46%削減に不足する分は、再生可能エネルギーを購入する。 の概要

再エネ100宣言

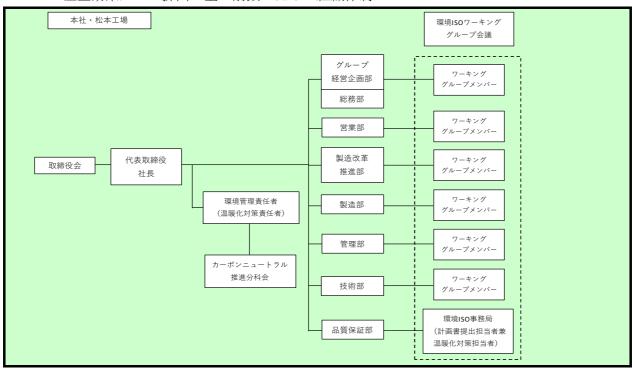
RE Action

その他

5の1 温室効果ガスの排出の量の削減のための組織体制

RE100

SBT



5の2 温室効果ガスの排出の量の削減のための会議体等の名称及び開催頻度

- ・カーボンニュートラル推進分科会
- 環境 I S O ワーキンググループ会議

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

6の1 エネル	/ギー起源二酸化炭素	系の排出の重り)削減に	-徐る日倧及い夫権	<u> </u>	
基準年度	基準排出量	3, 266	t-CO ₂	生産重量	2, 396. 00	単位 t
2022 年度	調整後排出量	3, 266	t-CO ₂	基準原単位	1.36	t-CO ₂ / t
目 標 年 度	目標排出量 (調整後排出量)	3, 168	t-CO ₂	目標原単位	1.35	t-CO ₂ / t
2025 年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	1.00	%
目標設定に 関する説明	照明のLED化等の省 近に出来る省エネネ 単位削減を達成する	活動に取り組み				
第一年度	排出量		t-CO ₂	生産重量		単位
70 172	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /
2023 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%
2020 /2	削減率		%			
排出量等の 増減理由						
第二年度	排出量		t-CO ₂	生産重量		単位
70-12	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /
2024 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%
1021 十次	削減率		%			
排出量等の 増減理由						
第三年度	排出量		t-CO ₂	生産重量		単位
刃 □干反	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /
2025 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%
2020 平度	削減率		%			
目標の達成状 況及び排出量 の増減理由						

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	一起源二酸化炭素以外 基準排出量	0	t-CO ₂	がロック重ックHITM(C Fr.	単位
2022 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位	t-CO ₂ /
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位	t-CO ₂ /
2025 年度	目標削減率		%	目標削減率	%
目標設定に 関する説明					
第一年度	排出量		t-CO ₂		単位
郑 干及	削減率		%	原単位	t-CO ₂ /
2023 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率	%
2023 平度	削減率		%		
排出量等の 増減理由					
第二年度	排出量		t-CO ₂		単位
<i>州</i> 二十汉	削減率		%	原単位	t-CO ₂ /
2024 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率	%
2021	削減率		%		
排出量等の 増減理由					
第三年度	排出量		t-CO ₂		単位
另 二十戌	削減率		%	原単位	t-CO ₂ /
2025 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率	%
2020	削減率		%		
目標の達成状 況及び排出量 の増減理由					

6の3 自動車の毎田に伴う二酸化農素の排出の量の削減に係る日標及び宝績

6の3 自動車	の使用に伴う二酸化炭素の	の排出の量の削減に係る目標及び実績	
基 準 年 度	基準排出量	10 t-CO ₂	単位
2022 年度	調整後排出量	基準原単位	t-CO ₂ /
目 標 年 度	目標排出量	t-CO ₂ 目標原単位	t-CO ₂ /
2025 年度	目標削減率	% 目標削減率	%
目標設定に関する説明			
第一年度	排出量	t-CO ₂	単位
第 中皮	調整後排出量	原単位	t-CO ₂ /
2023 年度	削減率	% 原単位削減率	%
排出量等の 増減理由			
第二年度	排出量	t-CO ₂	単位
为一十 <u>尺</u>	調整後排出量	原単位	t-CO ₂ /
2024 年度	削減率	% 原単位削減率	%
排出量等の 増減理由			
第三年度	排出量	t-CO ₂	単位
为 <u>一</u> 十戊	調整後排出量	原単位	t-CO ₂ /
2025 年度	削減率	% 原単位削減率	%
目標の達成状 況及び排出量 の増減理由			

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
$I \sim II$.	I -1	燃料使用量等の定 期的な把握						
	I -2	エコドライブの励 行						
Ш	Ⅲ-1	次世代自動車の導 入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導 入						

8 排出の量の削減目標達成のための具体的な措置

					計画	状況		
番号	区分	設備等	対策内容	実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)	
1	エネ起	生産設備	エネルギー使用量の管理	2023~ 2025				
2	エネ起	コンプレッサ	エネルギー使用量の管理	2023~ 2025				
3	エネ起	照明設備	運用管理	2023~ 2025				
4	エネ起	事務用機器	運用管理	2023~ 2025				
5	エネ起	照明設備	蛍光灯のLED化	2023~ 2025				
6	エネ起	工業炉	断熱ジャケットの装着	2023	77			
7	エネ起	空調機	ボイラー暖房からエアコンへの更新	2023	21			
8	エネ起	空調機	老朽化エアコンの更新	2024~ 2025				
9								
10								

9 再生可能エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

再生可能エネルギー源	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	kW	0	0			
水力	kW	0	0			
風力	kW	0	0			
バイオマス	kW	0	0			
太陽熱	kW	0	0			
その他	kW	0	0			
蓄電設備	kWh	0	0			

10 再生可能エネルギー電気等及びクレジットの利用の計画及び状況

種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書(電力)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
グリーンエネルギー証書(熱)	GJ/年					
FIT非化石証書 非FIT非化石証書(再エネ指定)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
Jークレジット	t-CO ₂ /年					
県が認証したクレジット (森林CO ₂ 吸収評価認証制度等)	t-CO ₂ /年					
再生可能エネルギー電気 (自家消費、PPA、自己託送等)	千kWh/年					
再生可能エネルギー電気 (小売電気事業者からの買電)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績

(所、t-CO₂)

工場等の規模	基準年度		第一	·年度	第二	.年度	第三	年度
(原油換算エネルギー使用量)	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	3, 238						
1,500k1未満	2	27						
合計	3	3, 266						

12 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 $(t-CO_2)$

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N_2O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0			

13 次世代自動車の導入状況

(台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイ ブリッド自動車	0			
電気自動車	0			
燃料電池自動車	0			
クリーンディーゼ ル自動車	0			
その他 (ハイブリッド等)	6			
合計	6	0	0	0
自動車総数	8			
次世代自動車導入 割合	75			

14 交通対策状況

区分	分 実施内容	
公共交通機関の利用促進	該当なし	
自 転 車の利用促進	従業員用の駐輪場を整備している	
来客者の交通対策 / 社 用 車 等 の 移 動 に 伴う取 組	該当なし	
電気自動車用充電 設備の設置 /電気自動車の導入	該当なし	
物流の合理化	まとめ受注推進による輸送頻度の削減	

15 環境配慮活動状況

環境配慮活動		活動内容の詳細		
			実施年度	
	SDGs	長野県SDG s 登録制度へ登録している		
	TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD) 支持を表明している		
■ 環境マネジメントシス テム	環境マネジメントシステムを導入している		2001~	
	名称	IS014001	2001	
	グリーンボンド・ESG 投資	グリーンボンドを発行している又はESG投資を実施している		
	ZEB	の認証を取得している		
	ディマンド・リスポン ス(DR)	電気の需要の最適化に資する措置 (上げDR・下げDR) を実施している 2022~		2022~
	その他	グリーン購入を社内で推奨している 200		2001~

1 6	自由記載欄(特に重点的に取り組んだ内容やアピール事項等)